

福祉文教常任委員会協議会会議録	
1 開会日	平成23年2月 3日 午前 9時30分 開会 午前11時55分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席委員	奥津勝子委員長 竹内恵美子副委員長 鈴木京子委員 山田喜一委員 浅輪いつ子委員 土橋秀雄委員 鈴木修委員
4 傍聴議員	清水弘子議員 百瀬恵美子議員 坂田よう子議員
5 説明員	町長 中崎久雄 副町長 吉川重雄 二挺木子ども育成課長 大隅室長 島村スポーツ健康課長 岩崎保険福祉課長 小島主幹 寺井副主幹
6 職務のため出席した職員	局長 飯田 隆 書記 岩田隆吉
7 協議等の事項	(1) 保育園待機児童対策について (2) 大磯町国民健康保険税条例の一部改正について (3) その他
8 その他	

(1) 保育園待機児童対策について

平成27年度までに計画をしている保育園待機児童対策事業の素案についての説明があった。

◎主な質疑

問. 保育園待機児童対策事業の計画を立てることが国の補助の前提になっているのか。

答. 前提にはなっていない。補助は、安心子ども基金の活用を予定している。

問. サンキッズ大磯が行う設計への町のかかわりは。

答. 町の考え方等を示して調整はしていく。

問. 仮園舎と本体工事の関係は。また仮園舎はどこに建てる予定か。

答. 今の園舎を解体して新しい園舎を建築する。その工事の間、仮園舎を設ける。仮園舎は、園舎の近くに国から借りている土地を考えているが、サンキッズ大磯からは狭いのではという話しが出ている。

問. 仮園舎で入所者数の増員が図られるという意味は。

答. 保育面積と保育士の配置を満たせば定員以上の人数を入所できるので、仮園舎では現在の入所者よりも多い人数を考えている。

問. 全体計画は何億になるのか。また、整備後の運営費の補助は。

答. 設計がこれからなので正確な数字は出ていないが、3億ぐらいの金額になるのではないかと聞いています。国からの運営費の補助は子ども子育て新システムになっても同じようにくるようである。

問. 国府保育園での待機児童対策は。

答. 西部地区の方でもサンキッズ・大磯を希望する方が多い。今後の保育ニーズ等を勘案し、公立保育園の増築、新たな保育園の誘致などについて考えていきたい。

問. 町の待機児童対策に対する基本的な方針を明らかにする必要があるのでは。

答. 国の子ども子育て新システムの動向を踏まえ、町の事業計画を総合的に考えていく必要があると考えている。

(2) 大磯町国民健康保険税条例の一部改正について

大磯町国民健康保険税条例の改正概要の説明があった。

◎主な質疑

問. 改定率を10.1%増とした理由は。

答. 年々の医療費の増、保険税の伸びの低さにより一般会計からの繰入が年々増えている。給付と負担の公平性から前回の改定率(12.8%)もみながら今回の率となった。

問. 軽減に該当する人数及び総額は。

答. 7割軽減は1,509人、5割軽減は351人、2割軽減は852人の計2,712人、約2,700万円を試算している。軽減額は公費で負担する。

問. 世代間の公平性は考慮しているのか。

答. 世代間の公平性もかみしながら改定率を考えている。

※委員長が、議会運営委員会に委員会付託とするように申し出ることとした。

(3) その他

学校におけるインフルエンザによる欠席状況についての報告があった。